

SJクイズ

[問題編]



Q1

平成25年の高齢者（65歳以上）の交通事故負傷者数を状態別にみると、最も多いのは自動車乗車中ですが、その割合は約何%でしょう？



- ①約35% ②約45% ③約55% ④約65%

Q2

平成16～25年の全人身事故件数に占める四輪運転者（第1当事者・特殊車、ミニカーを除く）の運転操作不適事故の割合を年齢層別にみると、最も高いのは次のどの年齢層でしょう？

- ①24歳以下 ②25～34歳 ③65～74歳 ④75歳以上

Q3

75歳以上の四輪運転者の運転操作不適事故で不適の形態が最も多いは次のうちどれでしょう？

- ①ハンドル操作不適 ②ペダル踏み間違い ③ブレーキ操作不適

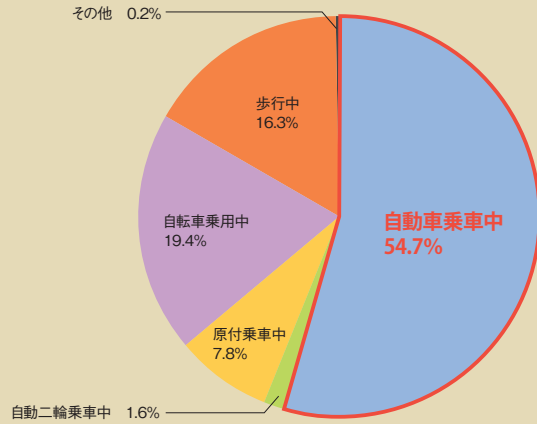
【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03(5412)1736

Q1 解答 ③約55%

<解説>

平成25年の高齢者（65歳以上）の交通事故負傷者数を状態別にみると、最も多いのは自動車乗車中で54.7%を占めている。まず、高齢ドライバーは加齢による身体機能の変化を自覚しておくことが大切だ。そして、見落としや判断の遅れを防ぐため、スピードを落とし、首や頭を動かして安全確認を行うなど、身体機能の変化を補うことを意識して運転する必要がある。また、高齢者をクルマに同乗させる時は万一の時の被害を軽減するために、ドライバーは助手席はもちろん後部座席でもシートベルトの着用を促してほしい。



●高齢者（65歳以上）の状態別交通事故負傷者数（平成25年中・構成率）

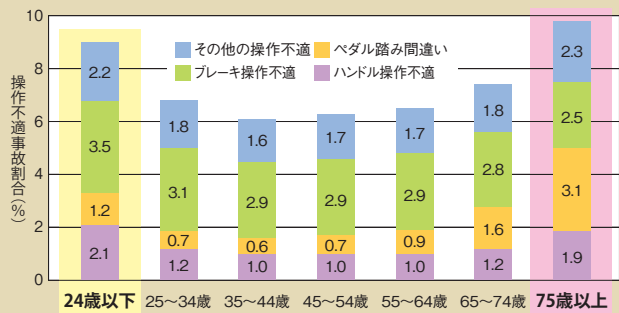
※出典：警察庁資料

Q2 解答 ④ 75歳以上

<解説>

平成16～25年の全人身事故件数における四輪運転者（第1当事者・特殊車、ミニカーを除く）の操作不適事故の割合を年齢層別にみると、最も高いのは75歳以上の高齢者で、次に高いのが24歳以下の若者である。75歳以上、24歳以下、いずれも操作不適事故割合が9%を超えており、他の年齢層よりも事故を起こしやすいといえる。

操作不適事故割合(%) = 操作不適事故件数 ÷ 全人身事故 × 100



●年齢層別の操作不適事故割合（平成16～25年・構成率）

※出典：「イタルダイナフォメーション No.107」

Q3 解答 ②ペダル踏み間違い

<解説>

75歳以上の操作不適事故割合を形態別にみると、最も割合が高いのはペダル踏み間違いである。これは他の年齢層の2～5倍になっている（Q2グラフ参照）。また、ペダル踏み間違い事故の割合を道路形状別にみると「道路以外の場所」（高速道路のサービスエリア、店舗の駐車場、広場など）が最も高い。高齢ドライバーは駐車場などで発進や後退をする際、ペダルやシフトレバーの位置をよく確認してから操作を行うことが事故防止につながる。

※出典：「イタルダイナフォメーション No.107」

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736